

オーガニックプロデューサーの取組について



2022年12月8日

オーガニックビレッジ全国集会

一般社団法人 次代の農と食をつくる会

私たちについて



千葉 康伸 代表理事／株式会社 農楽 代表取締役

土佐自然塾、山下農園で2年間研修したのち、神奈川県愛甲郡愛川町で新規就農。「五感を研ぎ澄まして、畑で自分の感性に焼き付けること」という山下一穂氏からの教えを実践。野菜類を約50品目栽培し、県内の生協・イオン・ビオセボン、小田原市内のレストランへの販売が主。農業を子供達の憧れの職業に！と願い、研修生の育成にも注力。また農場外でも有機農業参入促進協議会代表、アグリイノベーション大学校専任講師、丹波市立農の学校特別顧問を務める。2018年より「一般社団法人 次代の農と食をつくる会」代表理事。オーガニックや有機農業の枠をこえて、次代の持続可能で多様性のある豊かな社会を目指している。

西辻 一真 副代表理事／株式会社マイファーム

種藤 潤 副代表理事／一般社団法人オーガニックヴィレッジジャパン

白土 卓志 理事／株式会社いかす

松本 直之 理事／松本自然農園・農Tube委員会

高橋 勉 監事／JONA(日本オーガニック&ナチュラルフーズ協会)

間宮俊賢 理事／事務局長



私たちについて

「農と食に関わる多様な人たちの ネットワーク、場、仕組をつくる」



次代の農と食を語る会

農と食の次代をつくる
キーパーソンとともに
トークライブを毎月開
催。会員を対象に交流
企画やアーカイブ配信
もおこないます。



コンサルティング

有機農業を推進する自
治体や産地、参入希望
する法人などを対象に、
有機農業の産地形成を
包括的に支援していま
す。



有機農業の日

- ・事務局運営
- ・ロゴマークの管理
- ・関連イベント開催
- ・キャンペーンの運営
- ・グッズ作成

その他の実績

2016-18年度 生産・実需情報共有・調整システム構築支援事業／消費者・実需者等理解増進活動支援事業

2016年度 新規参入・定着等促進支援事業

2019-22年度 オーガニックビジネス拡大支援事業（オーガニックプロデューサーを全国の「オーガニックビジネス実践拠点づくり事業」実施主体の協議会に派遣して、地域のオーガニックの成長と課題解決をサポート）

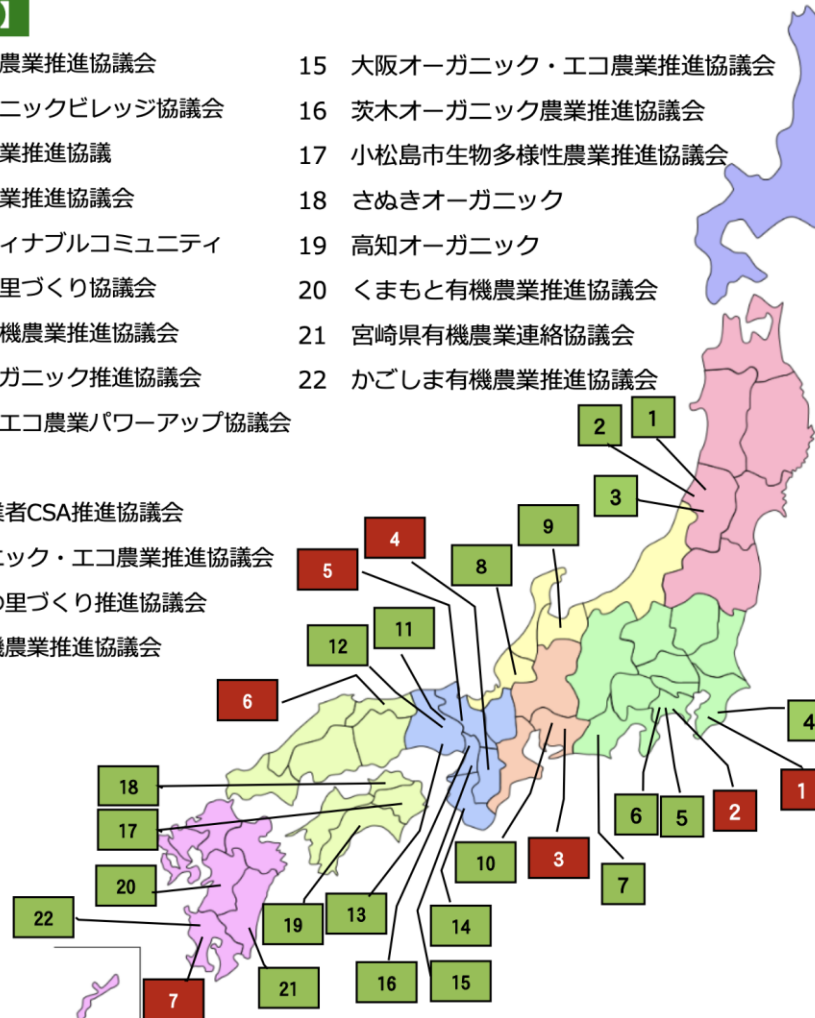
農林水産省「オーガニックビジネス拡大支援事業」

令和2年度 有機農産物安定供給体制構築事業のうち オーガニックビジネス実践拠点づくり事業 実施予定地区

【販路確保型】

- 1 かわにし有機農業推進協議会
- 2 もがみオーガニックビレッジ協議会
- 3 南陽市有機農業推進協議会
- 4 千葉県有機農業推進協議会
- 5 さがみサスティナブルコミュニティ
- 6 小田原有機の里づくり協議会
- 7 伊豆南地域有機農業推進協議会
- 8 若狭小浜オーガニック推進協議会
- 9 とやま有機・エコ農業パワーアップ協議会
- 10 知多の恵み
- 11 神戸有機農業者CSA推進協議会
- 12 神戸オーガニック・エコ農業推進協議会
- 13 丹波市有機の里づくり推進協議会
- 14 那賀地方有機農業推進協議会

- 15 大阪オーガニック・エコ農業推進協議会
- 16 茨木オーガニック農業推進協議会
- 17 小松島市生物多様性農業推進協議会
- 18 さぬきオーガニック
- 19 高知オーガニック
- 20 くまもと有機農業推進協議会
- 21 宮崎県有機農業連絡協議会
- 22 かごしま有機農業推進協議会



全国の

「オーガニックビジネス実践拠点」に
「オーガニックプロデューサー」を
派遣して課題解決を支援

【供給拡大型】

- 1 自然と共生する里づくり連絡協議会
- 2 株式会社いかす
- 3 名古屋オーガニックアクション協議会
- 4 生活協同組合コープ自然派奈良
- 5 京都オーガニックアクション協議会
- 6 株式会社コミュニティファーム
- 7 有限会社かごしま有機生産組合

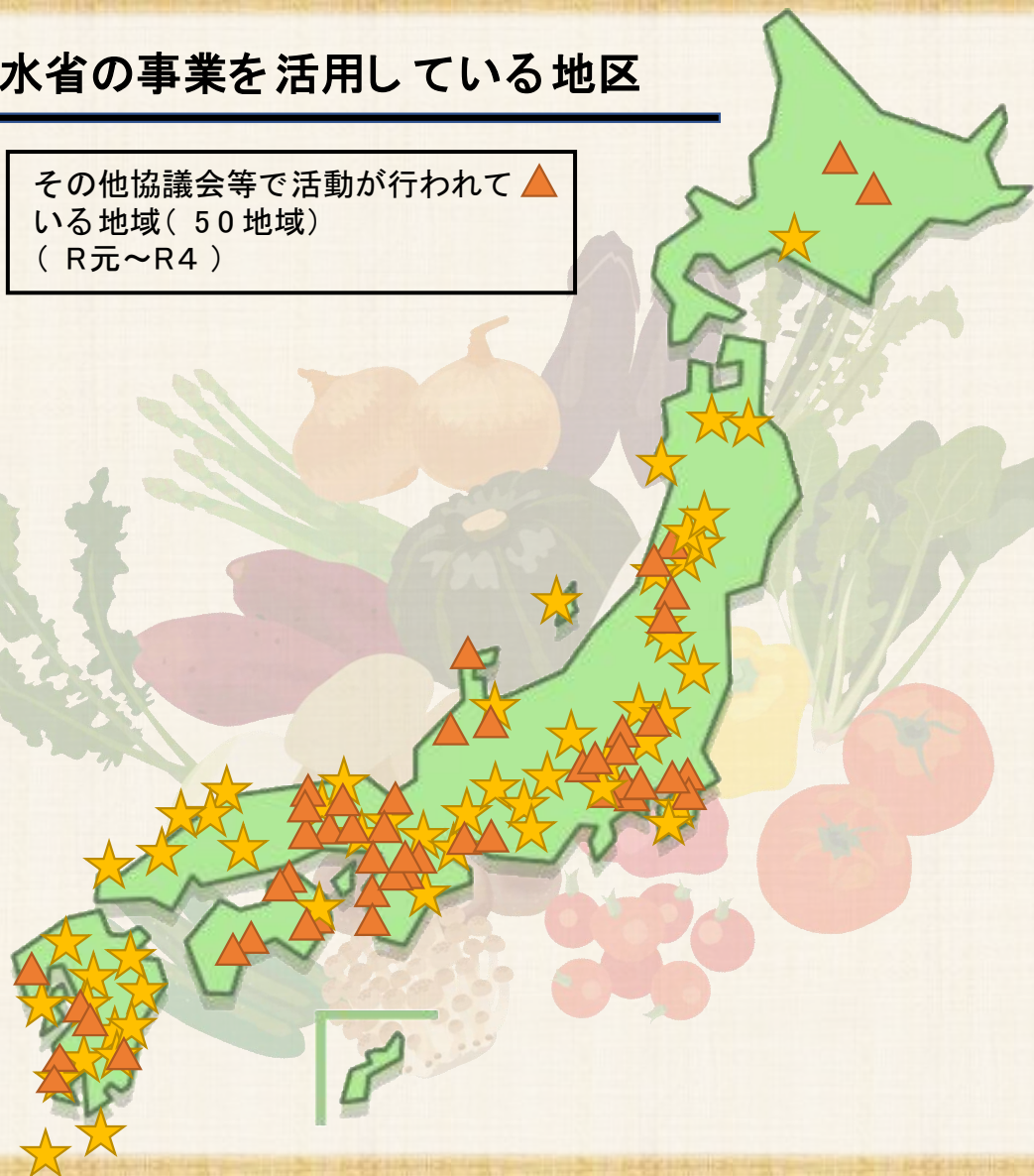
農林水産省作成

有機農業の拡大に向けて農水省の事業を活用している地区

みどりの食料システム戦略
推進交付金事業を活用(54市町村)

北海道	安平町	兵庫県	豊岡市
青森県	黒石市		丹波市
	五戸町		丹波篠山市
秋田県	大潟村		養父市
山形県	新庄市		淡路市
	米沢市	奈良県	宇陀市
	川西町	島根県	浜田市
	鶴岡市		大田市
福島県	二本松市		邑南町
栃木県	小山市		吉賀町
	市貝町	広島県	神石高原町
	塩谷町	山口県	長門市
埼玉県	小川町	徳島県	小松島市
千葉県	木更津市	福岡県	うきは市
	佐倉市	長崎県	南島原市
神奈川県	相模原市	熊本県	山都町
新潟県	佐渡市		南阿蘇村
富山県	南砺市	大分県	臼杵市
山梨県	北杜市		佐伯市
長野県	松川町	宮崎県	綾町
	辰野町		木城町
岐阜県	白川町		高鍋町
静岡県	掛川市	鹿児島県	南さつま市
愛知県	東郷町		南種子町
	南知多町		湧水町
三重県	尾鷲市		徳之島町
滋賀県	甲賀市		
京都府	亀岡市		

その他協議会等で活動が行われている地域(50地域)
(R元~R4)



有機農業の産地づくりに取り組む皆様へ

派遣費用
無料

有機農業推進総合対策事業補助金やみどりの食料システム戦略推進交付金を使って、有機農業の産地づくりに取り組む地域に、有機農法により収穫された農産物の販売の戦略について、アドバイス等をする「オーガニックプロデューサー」を派遣します（派遣費用は農水省より補助されるので、各地の皆様の御負担はありません）
先着順になりますので、御希望の方は、お早めに、以下お問い合わせ先へ、御電話下さい！

オーガニックプロデューサーとは？
有機農産物等の販売戦略の提案や助言、農業者と実需者との円滑なマッチングの促進を行う者。



送料が高い！
安く抑えたい！



今の出荷先だけでなく、他の出荷先はないのか？



消費者を巻き込んだイベントがやれないか？



農林水産省作成

コンサルティングメニューのご案内

戦略・ビジョン策定支援

- 経営戦略や市場動向に関するアドバイス
- 産地形成や共同出荷の事例とアドバイス
- 団地化支援
- 地域循環コンソーシアムづくり

販売支援

- ECサイト制作および制作支援
- PR動画制作および制作支援
- 農業の理解促進
- 給食導入支援
- スーパーでのコーナーづくり

栽培技術支援

- 新規就農者支援全般
- 慣行農産物生産者に向けた有機農業の技術導入支援

経営支援

- 補助事業の活用アドバイス
- サステナブル人材育成
- 加工品開発支援

コンサルティングメニューのご案内

有機農業のボトルネックとされる様々な課題に関して、幅広い知見と実績を有する人材による多角的・総合的な支援が可能です。また弊社人材以外にも、お困りの課題に応じて業界のプロフェッショナルの派遣に柔軟に対応することも可能です。

千葉康伸 株式会社 農楽（有機生産者）

例：有機野菜の栽培技術、産地形成のためのコンソーシアムづくりなど

西辻 一真 株式会社マイファーム

例：学校づくりなどの新規生産者育成支援、販路開拓支援など

松本 直之 農Tube委員会／松本自然農園（有機生産者）

例：YouTubeやSNSを活用した有機農産物プロモーションなど

高橋 勉 NPO法人 日本オーガニック＆ナチュラルフーズ協会(認証機関)

例：有機JAS認証、グローバルGAPの取得や活用など

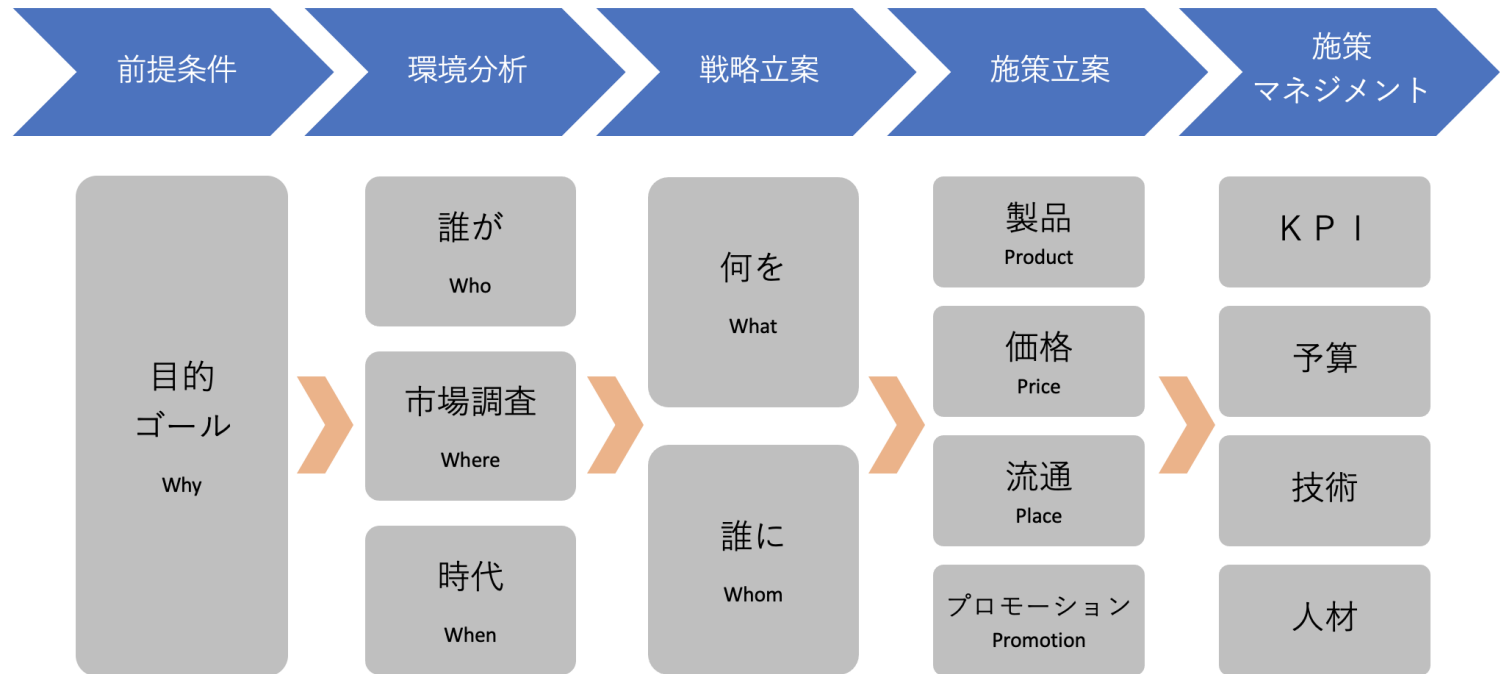
オーガニックビレッジへの支援展開フロー

- ① ヒアリング 産地の現状と課題を丁寧に聞き取ります
- ② 支援内容のご提案 ヒアリングとご要望を踏まえて
- ③ 派遣の実施 伴走型支援 / **スポット支援**
- ④ 次回派遣の調整 フィードバックを踏まえてご提案します
- ⑤ 支援の終了 自走化に向けて

コンサルティングメニューのご案内

自治体、産地、法人それぞれが抱える課題を整理し、目指すべきゴールに向けて環境分析・戦略立案・施策立案による全体構築を行うことで、課題解決への最適解を導きます。ボトルネックとなる課題に対して専門家を派遣することも可能です。

事業創造



高知オーガニック「地域小売グループの物流網を活用し 地産地消オーガニックコーナーをスーパーに常設」



ホーム > 農業

生産者団体とスーパー連携 高知県の有機野菜をいつも店頭で

シェア ツイート

市場拡大を目指す

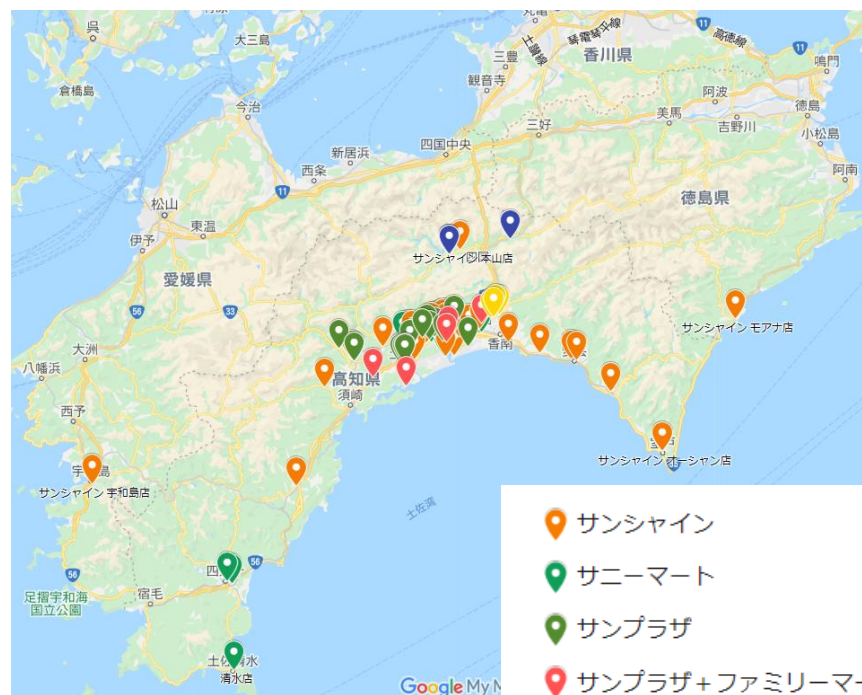
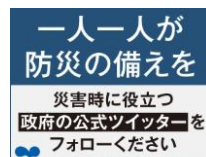
有機農産物の流通・販売でこのほど、高知県内の生産者団体とスーパー4社が連携し、独自のシステムをスタートさせた。消費者との接点を広げたい生産者側と、安定して商品を調達したいスーパーの考えを結びつけ、売り上げ増と市場の拡大を目指している。

連携するのは、農家13軒でつくる団体「高知オーガニック」(中西清二代表)と、スーパーの協業組織「四国CGCグループ」(本部・南国市)に加盟する4社の計15店舗。

小規模な生産者の販路が日曜市やネット販売などに限られる一方、消費者の有機野菜への関心は高まっているとして、運営会社「四国ジシシー」の辻信之社長が「気軽にスーパーで有機野菜が買える仕組みを整え、販路拡大に寄与したい」と連携を提案した。



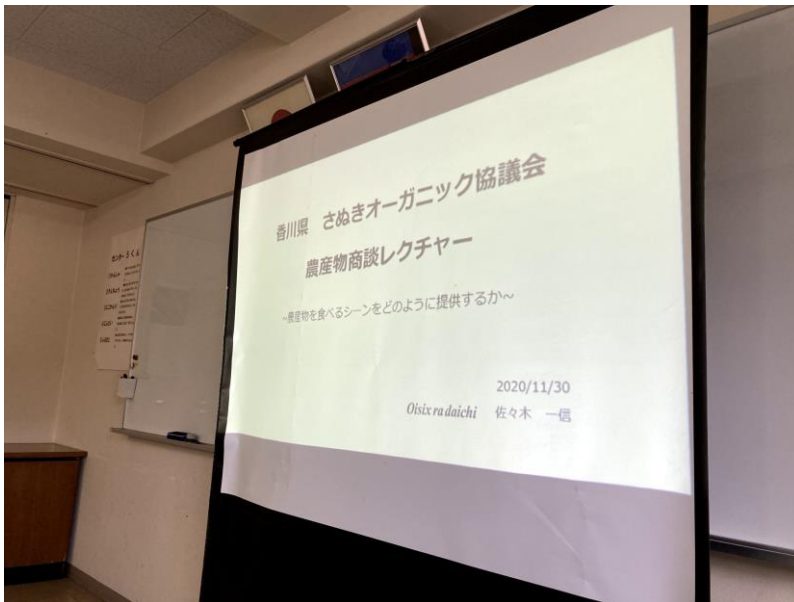
「高知オーガニック」の野菜を並べたコーナー(高知市稲荷町のサンシャイン クラージュ店)



- サンシャイン
- サニーマート
- サンプラザ
- サンプラザ+ファミリーマート
- バリュー
- 末広

コンサルティング事例 千葉康伸／佐々木一信（オイシックス・ラ・大地 株式会社）

さぬきオーガニック「ボトムアップの取り組みで、2022年 有機農業の日に合わせて給食に有機食材を納入実現」



高知オーガニックの取り組みをモデルに有機農産物の地域消費を目指して活動を展開。千葉康伸が協議会立ち上げ時からサポートをおこない、生産技術や商談スキル（佐々木一信 氏）についても指導を実施した。

コンサルティング事例 千葉康伸／白土卓志／間宮俊賢

山梨県北杜市オーガニックビレッジ「有機農業者団体の 設立に向けた意見交換会の企画運営をサポート」



北杜市担当者・生産者と繰り返し打合せをおこない、市内農業者の合意形成に向けた意見交換会の実施に伴走。また農水省担当者の講演も企画し、みどり戦略策定の社会的背景と内容・展望についてあらためて共有をおこなった。

その他のコンサルティング事例

千葉県いすみ市「有機野菜レベルアッププロジェクト」

丹波市オーガニックビレッジ「有機栽培勉強会」

湘南オーガニック協議会「加工品開発販売のアドバイス
＋一次加工品の商品化に向けた商談のセッティング」
等

コンサルティング事例 新田 美砂子（有限会社コートヤード）

山形県川西町 有機農業推進協議会

「有機米の地元における認知向上と、ブランディング・販売戦略」



専門分野：販売、マーケティング。生産者と消費者・実需者を結ぶ、「女性の視点と現場経験を生かした質の高い食作り」に取り組む専門家。「食」の目線から、実現可能性の高いオーガニックビジネスを提案、実施までを支援。

有機農産物のニーズやマーケットについて、現状の説明や、農産物のマーケティングに関するミニレクチャー、また有機米の差別化商品の事例の紹介、有機米の地元で認知度を上げる為の協議会としての取組みの方向性についての提案をおこなう。

また、有機米のみならず協議会の方向性についても、直売所や宿泊施設などの資源を活用して、産地ツアーなど外部から人を呼び込むなど多様な選択肢を提案した。



コンサルティング事例 吉岡隆幸（合同会社SOZO）

山形県南陽市 有機農業推進協議会

「市内レストランへの有機農産物の導入拡大支援」



農林水産省 6 次産業化中央プランナー。全国各地で、食・観光を起点とした地域活性化をプロデュース。首都圏を中心に、飲食・小売、仲卸とのネットワークも広い。

地産地消には必ず地元飲食店と農家との信頼関係の構築（シェフ向け農家視察ツアーの開催）、地域内物流システム（直売所や集荷場の有効活用）と受発注の簡素化（LINEなどを活用）が必要であるため、そのそれぞれに関するノウハウを伝えた。また、協議会メンバーと地元飲食店3店舗を訪問し、地産地消メニューを作ることのメリットなどを伝えた。

また圃場ツアーの写真を共有宣材として活用し市内協力飲食店で有機農産物フェアをおこなう、ワイナリーと連携したペアリングメニューを展開、生産者ディナーの展開などの具体的提案もおこなう。



東北	・学校給食における有機水稻及び有機農産物の活用に向けた課題 ・有機農産物の流通・加工・販売に向けた指導、助言
東北	栽培管理・栽培技術・加工から流通までの流れ
東北	地域内での有機農産物の付加価値向上とマーケットの拡大について等
関東	・有機農産物の栽培技術について ・有機農産物等の販売戦略について ・有機農業と有機農産物について、消費者の理解を深める取り組み 等
関東	地産地消有機農産物の地域内物流の効率化について
関東	販売 生産 里山の生き物評価？など
中部	販路、加工、運送について & 果樹での有機栽培におけるアドバイス
中部	・有機農業に関心の高い働き手の確保の方法 ・生産性を上げるための働き手のモチベーションの高め方
北陸	直売所に減農薬、無農薬の野菜が出荷されているが、整理されていない。 マーケティング、標記など販売面の助言。
中部	有機農産物の作付け計画からの生産調整手法、研修生を含めたチーム作り他
中部	流通の効率化の手法
関西	栽培方法及び出荷先について

関西	ニーズ調査の結果を踏まえた、オーガニック茶の販売戦略の立て方
関西	有機農産物の消費拡大に向けて行政が行えることとはなにか
関西	ニーズの高い栽培作物のマーケティング手法
関西	共同出荷グループの集出荷及び物流の一元化、有機野菜の給食への導入について
関西	有機栽培の技術について のらくら農場の萩原さんを希望します
中国	市場調査、流通、PRなどマーケティング全般
四国	販路拡大、給食への無農薬米提供に関する調整事項の解決方法 等
四国	・学校給食の有機農産物導入のアプローチを意見交換する場合にアドバイスができる方 ・各農家の有機農産物の集積、販売するツールやサポートについて情報提供できる方 ・農家の経営改善
九州	学校給食への有機農産物導入について
九州	・有機農業者を増やす仕掛けづくりについて(安定した所得の確保の課題解決) ・地元農産物販売所や学校給食、商工会など地域内での流通及び加工分野について ・住民を巻き込んだ有機農業応援イベントについて
九州	国産有機アーモンドを活用した加工品等の生産や販売経路の確保、その他有機農産物を活用した製品の製造や販路確保について

YouTubeチャンネルで「オーガニックプロデューサーセミナー」多数配信中



まずは、お気軽にご相談ください



お問い合わせ先：

一般社団法人 次代の農と食をつくる会

〒107-0052 東京都港区赤坂3-19-1 東京農村4F

電話：050-5375-8260（平日10-18時） 担当：間宮

info@jidainokai.com / <http://jidainokai.com/>